

平成29年度 芸術科「実用の書」シラバス	単位数	2単位	担当者	宮城 恵
	学 年・学 級		第3学年1・4、2・3、5・6組	
	使用教科書・副教材等		応用ペン習字(教育図書)	

## 1 講座のねらい(目標)

日々の暮らしと書の関わりを見つけ、生活の中に生きる書を大切にすることを育む。

また、生活の中に用いられる書の多様な書式を理解し、書を暮らしの中に生かすとともに、書道の幅広い活動をととして、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

## 2 学習計画及び評価方法等

### 〔1〕学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い
一 学 期	書の美を求めて 個性的な美の発見と表現	適 宜	○書の美の要素を理解し、そのよさや美しさを深く味わう心や楽しもうとする心を養う。
	一 硬筆の学習 1 ペン字の基本 2 楷書や行書 3 ひらがな	4	○ペンあるいは万年筆の使い方に慣れる。 ○硬筆を用いて楷書や行書などを学び、文字の結構法を習得する。 ○硬筆を用いてひらがなを学び、文字の結構法・連綿の仕方などを習得する。
	二 いろいろな書式 1 慶弔の書式 2 はがきや手紙の書き方 3 履歴書の書き方 4 ポスターや案内状の書き方	5 ～ 6	○慶弔の際の書式を学び、自分の名前が丁寧に書けるようにする。 ○はがきや手紙の書式を学び、表書きや手紙文が丁寧に書けるようにする。 ○履歴書の様式を学び、自分の履歴書が丁寧に書けるようにする。 ○様々な場面に対応できるような書式や書き方などを習得する
	三 小作品を作る 1 篆刻	7	○四字熟語や故事成語などを石印材に刻し、簡単な表装を施して楽しむ。
二 学 期	2 刻字 3 漢字の書 4 漢字仮名交じりの書 5 拓本を取る	9 10 11	○四字熟語や故事成語、表札などを木材に刻して楽しむ。 ○四字熟語や故事成語などを作品にして、表装を工夫して楽しむ。 ○好きな詩やことばなどを作品にして、表装を工夫して楽しむ。 ○自作の刻字作品や学校の校門等の拓本を取る
	四 季節の手紙を書く 1 年賀状を書く 2 絵手紙を書く	12	○毛筆で年賀状を書く ○書き方を工夫した絵手紙を書く
	五 生活の中に書を取り入れる 1 書のカレンダーを作る 2 毛筆によるTシャツを作る	1 2	○1・2学期で作成した小作品をもとに、カレンダーやTシャツなどを作り、暮らしの中に書作品を取り入れる工夫を考えて楽しむ。

### 〔2〕評価の観点、内容及び評価方法

【課題・提出物等】 課題に応じた作品を提出する。また、授業中に書いたものは基本的に提出する。 (試作、添削されたもの、清書等も含む)
【評価方法】 提出作品を中心に、用具用材の使い方を含めた学習活動への参加態度などを基に総合的に評価します。 作品制作については、自分の意図した表現をしようとしているかという点が評価の規準となります。
【学習状況の評価方法】 下記の4つの観点から評価した一学期、二学期、三学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はチャイムと同時に始めますので、用具を準備し着席を完了させて下さい。</li> <li>・用具は大切に扱い、特に、筆と硯はきれいに洗いましょう。</li> <li>・作品等はファイルにきちんと整理しておきましょう。</li> </ul>
---------------------	--